

港区立御成門中学校  
令和元年度 授業改善推進プラン

## 1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	項目によって習熟度に差がある。「読むこと」に関する事項は全国および区の平均を大きく上回っている一方、「書くこと」に関する事項は区の平均と同程度、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質」に関する事項については全国平均を下回っている。文章を読み、設定された学習課題の意味を理解して活動・表現することができる一方で、読み取ったことを書いたり話したりして伝え合う表現力や語彙力、漢字や表現技法といった基礎的・基本的な内容の定着に課題が見て取れる。
社会	知識偏重から脱却し、思考力・判断力・表現力や資料活用の技能を身につけさせるために、ICTの活用や言語活動の充実、作品にまとめる活動などを積極的に進めてきたが、基礎的な知識・理解の定着が不十分という結果が明らかになってしまった。今後は、ICTの活用方法や言語活動の実施が適切であったのか、有効であったのかを検証するとともに、基礎的な知識・理解の土台の上に、様々な能力が育成されるような授業実践を行っていく。
算数	1年生は、ほとんどの項目で区の平均と同じような分布であるが、2, 3年生は、区の平均を下回っている項目が多い。基礎的な知識の定着を図り、「どうしてそうなるのか」という原理を理解させる授業展開を行っていく。分野別では、「関数」が、観点別では「数学的な見方や考え方」「数学への関心・意欲・態度」が区を大きく下回っており、深い学びができていないことが課題となっている。
理科	2・3年生においては目標値を上回っているが、1年生では幕表地を大きく下回っている。またどの学年とも区の平均を下回っており、理科という教科への意欲・関心に課題がある。「科学的な思考・表現」や「活用」の項目は、ほかの項目から比べると高く、考える力・活用する力はあるが、その元となる「基礎」の項目が低いため、基礎・基本の定着を徹底する必要がある。またどの学年とも、「観察・実験の技能」の項目が低く、授業の中で、目の前の減少には興味を持って取り組むことができるが、何のための実験なのか、何がわかったのかなど全体像が捉えられていないことがわかる。
外国語	2・3年生において、目標値や全国平均を上回っている。一方で、読むことに関しては区の平均を下回っており、読解力に課題が残る。帯活動として副教材のまとまった英文を読む練習をしている学年もあるものの、成果としてはまだ表れていないのが現状である。なお、80～90ポイントの生徒と、30～40ポイントの生徒が各学年ともに区の平均を上回っていることから、生徒の理解度に大きな差があることが読み取れる。少人数習熟度別授業やデジタル教科書などのICT機器の特性をいかし、生徒の理解の差を少なくしていきたい。

## 2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマに関する材料や情報の集め方と表現の違いによる伝わり方の違いを理解する力</li> <li>○書くためのプロセス、文章の構成、根拠を明確にして書く力</li> <li>○言葉の単位や語句と語句の関係、漢字や字を書くときの配慮事項に関する知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身につけさせたい資質や能力に関する指導を行う際には、生徒の実態に合わせた課題の設定や例示を踏まえた説明、ワークシートや学習形態の工夫、ICTの活用、模範を見せること等によって、課題に対してつまづきを見せる生徒を少なくできる配慮を行う。</li> <li>○課題に対する到達度を見るための単元テストや提出物による評価、および十分な到達度でない生徒への補充的学習課題や助言を行う。</li> </ul>

社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象についての知識・理解の基礎・基本</li> <li>○思考力・判断力・表現力</li> <li>○資料活用の技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本に関しては確実に定着できるように、復習的な学習や単元のまとめ等を実施する。</li> <li>○自ら考え判断し、その過程等を自分の言葉や作品等で表現する能力を育成するために、課題解決的な学習を取り入れる。</li> <li>○様々な資料を読み取ったり、復習の資料から関連性をつかんだりする活動を実践する。</li> <li>○必要に応じてICTを活用し、また、言語活動の充実を図る。</li> </ul>
数学	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の定着</li> <li>○応用への活用</li> <li>○数学的な見方・考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体物や、半具体物等を使うなどして、基礎・基本の定着を徹底する。</li> <li>○既習知識を使って、活用問題を解く授業を行っていく。</li> <li>○言語活動や数学的活動を通して、自分の考えを伝えたり他者の考えを聞くことで、様々な見方・考え方を吸収させる。</li> </ul>

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学を探究するために必要な基礎・基本的な知識</li> <li>・観察や実験に必要な基本的技能</li> <li>・日常生活との関連を見いだせる力、科学することの面白さへの気づくことのできる能力</li> <li>・科学的な根拠に基づいて表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の後、何ができるようになったのか小テストで検証したり、日常生活と関連付けることで知識の定着を図る。</li> <li>・実験を行う理由を理解させてから実施し、結果を数値化グラフ化させるとともに、結果をもとに考察を書く練習を繰り返しおこなう。また模範解答などを提示することで、書くことが苦手な人にも取り組みやすい環境を作る。</li> <li>・ニュースや日常生活の中での科学的内容をを取り上げ、原理や現象を学習内容と結びつけることで、興味関心を高める。</li> </ul>

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すること。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能。</li> <li>・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く力。</li> <li>・音楽に対する感性。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について、実感を伴いながら理解できるようにする。グループ活動等で意見を発表して共有する場面では、歌ったり聴いたりして確認しながら発言内容と音楽とを結びつける丁寧な学習活動を行い、主体的・対話的で深い学びの実現につなげる。</li> <li>・生活や社会の中の音楽の働きの視点から、学んでいること、学んだことの意味や価値などに生徒が意識を向けることのできる場면을指導の過程に位置付ける。</li> </ul>

美術	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が表現したいことを計画立てて表現できる能力。</li> <li>・鑑賞活動を行い、美術作品の良さ美しさを感じ、それを表現につなげられる能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートや学習カードを利用し、言葉で表現したり、アイデアスケッチを多く描くことで、見通しをもつ。</li> <li>・鑑賞授業ではペアワークなども取り入れ、対話的で深い学びにし、友人の意見を聞き、自分の言葉で伝えることで、美術作品への思いや考えを深める。</li> </ul>

保健体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎体力</li> <li>○自己の課題を見付け解決する能力や技術・知識</li> <li>○生涯にわたって運動に親しむ態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年課題に応じた補強運動の実施</li> <li>・課題発見や課題克服に向けたグループ学習やICT機器を用いた学習の充実</li> <li>・運動ごとの機能的特性に触れる学習内容の充実を図り、運動の楽しさを味わわせる指導の工夫</li> </ul>

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの生活を改善するために必要な基礎的な技能</li> <li>○生活の課題を見だし、課題を解決・改善する知識や技術</li> <li>○持続可能な社会の構築に向け、生活を工夫し創造する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的技能の繰り返しによる完成度の高い製作経験。</li> <li>・物作りに工具や機械を効率的で安全に使用できる経験。</li> <li>・自らの生活に役立つ実用的な作品の設計と製作。</li> <li>・実践し重ねた経験を家庭生活に生かす学習内容の構成。</li> <li>・ペッパー等を活用したプログラミングによる計測・制御システムの学習と学習内容の工夫・改善。</li> </ul>

外国語 (英語・国際)	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとまりのある文章を読んで理解する読解力</li> <li>○知識や語彙を活用する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとまりのある文章を読む活動を取り入れる。</li> <li>○スペリングテストを実施し、語彙力を身に付けさせる。</li> <li>○単元評価プリントなどで復習を繰り返し、定着した知識を活用できるようにする。</li> <li>○少人数習熟度別授業やICT機器の特性を生かし、生徒の理解の差を小さくする。</li> </ul>

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に自分との関わりで考え、多様な考え方、感じ方と出会い、交流する能力を育成するという「考え、議論する」道徳の実践を通して、22の内容項目の態度や能力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任1名の価値観を押し付けることにならないように、学年教員によるローテーションで授業を実施する。</li> <li>○生徒一人一人が道徳的価値に根ざした問題について、主体的に自分との関わりで考えたことを友人や教員と話し合い、語り合い、分かち合い、聴き合い、認め合う活動を通して深められるようにする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校のルールを守り、自律して学校生活を送る力。</li> <li>○互いの個性を認め合い協調していく力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員側が提示したルールを守らせるだけではなく、学級委員・生活委員が中心となり生徒自身でルールについて考える機会を作っていく。</li> <li>○学校行事に向けて、学級討議をする機会を作り様々な考え・個性があることを理解させる。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年で設定するベース学習、キャリア学習、テーマ学習において、「つかむ」「調べる」「深める」「まとめる・伝える」活動に取り組み、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</li> <li>○ICTを効果的に活用する。</li> </ul>